

みずほCustomer Desk Report 2022/01/12号(As of 2022/01/11)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	115.34
TKY 9:00AM	115.28	1.1330	130.57	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	115.68	1.1375	131.18	1.3581	0.7181
SYD-NY Low	115.12	1.1313	130.51	1.3636	0.7213
NY 5:00 PM	115.30	1.1369	131.07	1.3563	0.7155
				1.3634	0.7211
NY DOW	36,252.02	183.15	日本2年債	-0.0800	0.00bp
NASDAQ	15,153.45	210.62	日本10年債	0.1500	2.00bp
S&P	4,713.07	42.78	米国2年債	0.8865	▲1.09bp
日経平均	28,222.48	▲256.08	米国5年債	1.5064	▲0.81bp
TOPIX	1,986.82	▲8.86	米国10年債	1.7454	▲0.87bp
シカゴ日経先物	28,490.00	260.00	独10年債	-0.0350	0.35bp
ロンドンFT	7,491.37	46.12	英10年債	1.1695	▲1.80bp
DAX	15,941.81	173.54	豪10年債	1.8800	▲3.00bp
ハンセン指数	23,739.06	▲7.48	USDJPY 1M Vol	5.89	▲0.15%
上海総合	3,567.44	▲26.08	USDJPY 3M Vol	6.13	▲0.16%
NY金	1,818.50	19.70	USDJPY 6M Vol	6.43	▲0.08%
WTI	81.22	2.99	USDJPY 1M 25RR	-0.53	Yen Call Over
CRB指数	241.586	4.95	EURJPY 3M Vol	6.55	▲0.00%
ドルインデックス	95.62	▲0.37	EURJPY 6M Vol	6.90	▲0.05%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月11日	14:00	日	景気一致指数・速報	11月 93.6 93.4
1月12日	00:00	米	パウエルFRB議長 公聴会	利上げを追加で実施する必要があると見られる インフレを元に戻すために金融当局の手段を活用する

【本日の予定】

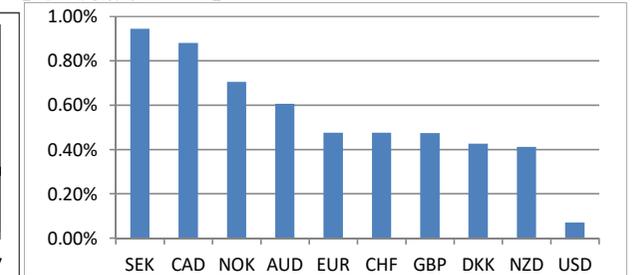
Date	Time	Event	予想	前回
1月12日	10:30	中	CPI(前年比)	12月 1.7% 2.3%
	19:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	11月 0.2% 1.1%
	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	12月 0.4%/7% 0.8%/6.8%
1月13日	04:00	米	ページジュブック	- -

東京	東京時間のドル円は115.28レベルでオープン。米国金利が連日で上昇しているもののリスクアセットの下落による警戒感が依然強い状態であり、海外時間からの株安の流れを受けて上値の重い推移。パウエル議長の公聴会を海外時間に控えていることもあって値幅は20銭と限定的となり、115.23レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は115.23レベルでオープン。欧州株が全般的にプラスで推移したためリスク回避の買いポジションに巻き戻しが入り、ドル円は115.50まで買われた。午後のパウエルFRB議長の公聴会を待ちながら高値圏のままニューヨーク時間へ渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク時間のドル円は115.50レベルでオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ115.68まで戻す。カ派で知られるマスター・クリーブランド連銀総裁が12月の会合で3回利上げを支持したことを明らかにするが、3月に利上げしてもまだ十分に緩和的との見方を示したことからやや派と取られたことや、米株式市場が寄り付き後軟化する動きを受けた円買いでドル円は115.36まで反落する。パウエル議長の公聴会では「バランスシートは必要な水準をはるかに上回っている」等の発言が伝わったが特段サプライズでもなく、その後は株式市場が切り返す動きでドル円も115.47まで戻す。午後は、米3年債入札で前日よりも応募倍率が高かったことから金利が低下する展開にドル円も小振り、終盤は明日のCPI発表を控えて狭いレンジでの推移が続く。115.30レベルでクロスした。ユーロドルは1.1332レベルでオープン。朝方は米株式市場が軟化する動きを受けたユーロ円の売りにユーロドルも上値を切り下げ、1.1313まで下落する。しかしその後は米金利が低下する動きを受けたドル売りに1.1368まで戻す。午後ドル売りが継続したことから1.1375まで戻し、1.1369レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	115.00-116.00	1.1300-1.1400	130.50-131.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は115円前半を中心とした推移。パウエルFRB議長公聴会を前に、ここ数回の発言機会同様にタカ派な発言内容となるとの思惑もありドル買いが優勢となると一時115.68円まで上昇。公聴会の内容としては「高いインフレが続けばさらに政策金利を引き上げなければならないだろう」「バランスシート縮小は今年後半から開始されるだろう」と述べるとともに「正常化への道のりは長い」と述べ、新たなサプライズはなく過度なタカ派でもない内容。これら発言が伝わるとドル売りが優勢となる局面も見られた。本日は115円台での推移を予想。週明けに見せたドル売りも115円を割れることのない推移。FRBの金融引き締めに向けた期待感の高まる中でドル買い優勢の流れを本線に見通す展開か。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小野崎・逸見